

IMAGINE ROTARY

イマジン ローターリー

2022～23 年度年度

国際ローターリー会長 Jennifer E.Jones

Rotary

東京麹町



東京麹町ローターリークラブ

本日の例会プログラム

第 34 回例会 2023.6.12 (#2381) 麗の間
例会ホスト・紹介係 山本君
受付係 秋山君 住吉君
司会者 藤谷君 ソングリーダー 須藤君

卓話 「臓腑を元気にする 漢方のチカラ」
東京一ツ橋 RC 久保田 佳代氏
紹介者 若林会員

前回の報告

第 33 回例会 2023.6.5 (#2380) 麗の間
例会ホスト・紹介係 乳井君
受付係 乳井君 守屋君
司会者 藤谷君 ソングリーダー 鈴木君

卓話 「バイクとボランティア」
東京板橋 RC 星亀 賢一氏
紹介者 若林会員

会長報告

- 1) 本日は、長年、白バイの研修をボランティアとして支えていらっしゃる、東京板橋RCの星亀様にお越し頂きました。
- 2) 今期で、ご入会30年の新保会員へ功労賞をお贈り致します。
- 3) 米山奨学生のりさんが出席です。
- 4) 青少年交換学生のエヴァリさんです。エヴァリさんのカナダのスポンサークラブとのバナー交換をおこないます。

幹事報告

- 1) 例会終了後、定例会理事会を開催します。次年度の理事もお残り下さい。
- 2) 22日の臨時クラブ総会にて、決議した内容を配布致しました。新しいローターリーガイドを早急に作成してお配りいたします。
- 3) 今期の最終例会は、プリンスギャラリー紀尾井町 36F「オアシスガーデン」にて開催。眺望の見事なローケーションですので、皆様、楽しみになさってお集りください。



例会記録

会員総数 57名 出席会員数 27名
ゲスト 1名 ビジター 1名
その他 2名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

畠田実様(鹿児島城西 RC)
こちらで会合がありお邪魔しました
木元会員:6月で92歳になりました。
若林会員:星亀様、卓話を宜しく。
内田会員:引っ越しました。
新保会員:30年どうにか在籍することができました。皆様、感謝です。
加賀会員:クラブ総会にご協力ありがとうございました。第60回全日本合気道演武大会に初めて出場。感動しました。
乳井会員:以前のローターバッジがありました、本日はそれを付けて出席です。
齊藤会員:今夜の衛星クラブとの懇親会宜しく。
凧会員:うれしいことができました。
パートナー誕生日:
濱田会員・久保田会員・荒川会員
結婚記念日:加賀会員・植芝会員・浅野会員・藤谷会員
誕生日祝い:荘村会員

次回予告

第35回例会 2023, 6, 19 (#2382)

最終例会

お昼間の例会はございません。

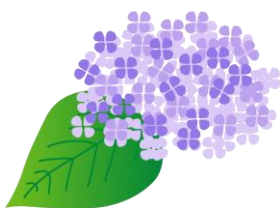
@プリンスギャラリー紀尾井町 36F

「オアシスガーデン」

次回通常例会は7月3日、
第56期のスタートです



世界に希望を生み出そう



決断のヒント

信金中央金庫副理事長 中原 広氏(5/15 卓話 飯嶋会員紹介)



信用金庫は地域に密着した非営利の金融機関であり、全国に 254 金庫あります。信金中央金庫はそれらをつなぐ中央金融機関です。信用金庫の余資をお預かりして、45 兆～50 兆円の資産規模で、資金

運用や融資を行っています。

私は大蔵省入省後、長く国家予算や金融系の業務に携わり、国会対策も担当したことがあります。理財局長の時は国債管理などを担当し、退官前には国税庁長官も務めました。中央官庁での 34 年間の役人生活において、つらく苦しいこともありましたが、政治家が重要な決断を下し、国を動かす様を間近に見させていただいたのは官僚人生の醍醐味だったと思います。守秘義務などもありますので具体的なことはなかなか申せませんが、本日は官僚人生の中でおもったことなどを歴史上の出来事にこと寄せてお話しします。

カエサルが『ガリア戦記』に残した言葉に、「およそ人は自分の望みを勝手に信じてしまう」があります。カエサル率いるローマ軍の副将サビーヌスがガリア人のウェネリ一族との戦いで勝利した場面に出てくる言葉です。サビーヌスの軍を包囲しているうちに食糧が欠乏してきたウェネリ一族は、サビーヌスが流したローマ軍撤退準備中という偽情報を聞いてローマ軍を急襲したものの、準備して待ち構えていたサビーヌスの軍に大敗してしまいます。こうあってほしいという話が来るとつい信じてしまうのは人間の心理であり、私が官僚時代にも痛感しました。このカエサルの名言がぴったり当てはまるのが、太平洋戦争での出来事です。

昭和 17 年 8 月、米軍が反攻を開始し、ガダルカナル島に上陸します。日本軍の大本営は当初、同島の米軍兵力を海兵隊 1 万数千名とほぼ正確に判断していましたが、第 1 次ソロモン海戦で大勝利すると、一気に樂觀に転じます。航空偵察で同島から米軍が撤退しているように見えるという報告だけで、敵は脱出に腐心なので 2 千名の兵力で同島を奪還できると判断します。現場では急いで乗り込んだ先遣隊 9 百名だけで突撃を敢行圧倒的な兵力火力の前に全滅します。その後の日本軍の総攻撃も全て失敗に終わりました。

次に中国の戦国時代の逸話を紹介します。秦と趙が長平で対峙していたとき、趙の將軍・廉頗は陣地を守りながら秦軍の疲労を待っていました。困った秦は趙王に間者を送り、「秦が憂慮するのは趙括(趙の名將・趙奢の子)が大將となることだ」と吹き込んだところ、趙王はこれを信

じ、周囲の反対を押し切って廉頗に代えて趙括を大將としました。しかし、実戦対応力に乏しかった趙括は、廉頗の陣地堅守の方針を全面的に改めた結果、趙は糧道を断たれて大敗しました。

私の最大の疑問は、なぜ趙王は、趙括の母や名宰相藺相如(りんしょうじょ)の反対を押し切って趙括を登用したのかということです。それは、王自らが直接得た情報であるが故に信じてしまったからではないでしょうか。私にも、尊敬する大幹部が明らかに間違った情報を信じ込み、いくら否定しても聞いてもらえなかった経験があります。この話から得られる最大の教訓は、上位者は自身で得た情報こそしっかりと真偽を検討する必要があるということです。前任者の路線を全面否定することの功罪についても考える必要があるでしょう。

ナポレオンは、や自身の企画を口述筆記した命令書を騎馬の参謀により各所の部隊に伝達する命令戦法で広域に展開する自軍を自在に操り、連戦連勝しました。しかし、軍隊の大規模化につれてこの戦法が機能不全に陥り、思うように勝てなくなりました。自身の成功体験に執着したために環境の変化に対応できなかったのだと思います。

政党政治家犬養毅や鳩山一郎らは昭和初期、ロンドン海軍軍縮条約に関し「海軍軍令部の承認を得ずに兵力量を決定したことは統帥権干犯である」として政府与党を批判しましたが、これによって軍に政治介入の具を与えてしまいました。政権奪還をさせた近視眼的判断が、政党政治の崩壊を自ら招くこととなったのです。

第二次世界大戦で最高の戦時宰相と称賛されたチャーチルも、第一次世界大戦では大失敗を犯しています。当時海相だったチャーチルは、自分が天才的用兵者だと思い込んでいました。そのため、専門家と十分な意思疎通をせず、準備不足のまま強引にガリポリ作戦を進め、大損害を招きました。

ナポレオンには現場情報の把握力、犬養や鳩山には大局観、チャーチルには自己を客観視する能力が欠如していたと思います。能力や実績のあるリーダーが犯した失敗の背景には、このような理由があったのです。こうした失敗の本質を認識することが、同じ失敗を繰り返さないためには重要だと思います。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	浅野 泰弘	FAX:03-3263-9122
幹事	加賀 聡	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	吉沢 京子	URL: www.koujimachi-rc.jp